

「障害のある子どもの意見表明権を考える

～障害のある子どもの『意見を聽かれる権利』と保育・教育実践～」

講師 楠 凡之さん（北九州市立大学）

□ 日時 2026年3月1日（日）

13:45~ 受付

14:00~16:30 学習会

□ 場所 ふくふくプラザ 503 研修室
福岡市中央区荒戸3丁目3

□ 参加方法

① 会場参加

② オンライン参加

□ 参加費 500円

① 会場参加の方は、当日会場にてお支払いください。

② オンラン参加の方は、申込受付後、事務局から参加費の振込先をメールにて連絡します。2月20日までにお振込み下さい。入金確認後にzoomミーティングIDとパスコードをメールで知らせます。

□ 申込方法

右下のQRコードからお申込ください。

申し込み締め切りは2026年2月20日

2025年11月25日発行第53巻第3号(通巻203号)1980年11月20日 学術刊行物認可826号 ISSN-0388-4155
JAPANESE JOURNAL ON THE ISSUES OF PERSONS WITH DISABILITIES

障害者問題研究

全国障害者問題研究会 第53巻 第3号

Nov. 2025

Vol.53

No.3

特集 障害のある子どもの
意見表明権を考える

- 特集にあたって 山中冴子 1
日本における子どもの意見表明・参加にまつわる全体的な動向 ● 安部芳絵 2
障害のある子どもの「意見を聽かれる権利」と保育・教育実践
● 山中冴子・楠 凡之 10
障害のある子どもの意見表明権と最善の利益とバーナリズム ● 木全和巳 18
実践報告
就学前の幼児の意見表明権を保障した取り組みについて ● 栗山宣夫・栗原志津恵 26
傷つきや苦しみを暴力で吐き出すしかない子どもに思いを言葉にできる力を育む
● 田中博子 32
子どもに訊きながら授業をつくる ● 鈴木輝子 38
生活の中で様々な形で表れる子どもたちの願いに目を向けて ● 小林達朗 44

- 連載 實践に学ぶ
小学校特別支援学級の実践
子ども理解を深めてくれたトシとの出会い 勝原未歩 50
【勝原報告に学ぶ】熊本勝重 56
児童発達支援センターの実践
「難しい我が子」から「愛おしい我が子」へ 光野帆乃夏 58
【光野報告に学ぶ】福武 肇 64
連載 ワイドアンギル
「学問の自由」の瓦解と軍事研究推進による学術衰退の危機 西垣順子 66
動 向
「子ども誰でも通園制度」をめぐって 近藤直子 72
編集後記 80

★当日会場で「障害者問題研究 Vol.63.No.3」を特別割引価格、定価2750円を2200円で販売いたします。是非、この機会にご購入下さい。

子ども家庭庁の「障害児支援における子どもの意思の尊重・最善の利益の優先考慮の手引き」（2024）では、子どもの意見表明権保障のプロセスを・意思形成支援、・意思表明支援、・意見形成支援、・意見表明支援、そして意見実現支援として整理しています。全障研の研究誌である「障害者問題研究」の最新号でも「障害児の意見を聽かれる権利と保育・教育実践」という特集を組み、様々な年齢、発達段階の子どもたちの意見を聽かれる権利の取り組みの課題と留意点を理論的、実践的に提起しました。

本学習会では、障害児の意見を聽かれる権利を保障する保育・教育実践の意義と課題について、放課後ディでの実践報告も紹介しつつ提起します。

問い合わせ先

全国障害者問題研究会福岡支部事務局（発達相談室 Lebe）

☎ 080-1737-8787

Mail zenshouken.fukuokashibu@gmail.com

